

国際キャリア実習 報告

国際学部国際社会学科3年 菅原笑

インターンシップ概要

◆期間：

平成29年2月24日～平成29年3月10日

◆実習先：

SARVODAYA本部(スリランカ)

SARVODAYAとは

◆SARVA(all) + UDAYA(awakening)

= “Awakening of all” (すべての目覚め)

◆1958年にA.T.アリヤラトネ博士によって始められた農村開発運動

◆目的：

世界から飢餓・病気・無知・争いをなくすこと

インターンシップの目的

- ◆内発的発展とは何なのか、発展に必要とされるものは何なのかを考える
- ◆海外で働くとはどういうことなのかを学ぶ
- ◆国際協力とは何か、開発とは何かを考察する



活動報告

①Hawandana村でのホームステイ



② シュラマダーナ活動への参加



③女性主体の活動現場への訪問



④ アボリジニ(Vedda)の村への訪問



⑤サルボダヤ保育園でのサポート



⑥青年海外協力隊員の方々との お食事



⑦PARCIC主催Sari Connection のイベントへのお手伝い



⑧スリランカJICA事務所、 PARCIC事務所訪問



実習の成果

- ◆サルボダヤが最も力を発揮していた時期と現在との比較をすることで今のサルボダヤに何が足りないのかを自分なりに考察できた
- ◆海外で働くとはどういうことなのかというイメージを掴むことができた
- ◆簡単なシンハラ語で現地の方々とより深く交流を図ることができた。
- ◆今まで気付かなかった日本の問題を考えることができた

反省点

- ◆意思をはっきり伝えられなかった
- ◆英語力の不足
- ◆タミル文化に触れる機会が少なかった

将来への影響

- ◆ 当たり前前が当たり前でないことへの気付き
- ◆ 勉強へのモチベーションの変化
- ◆ 言語の大切さ
- ◆ 小さなことへの感謝の気持ち